






















プログラム名	ひとにぎりの粘土						
対象年齢	年少 年中 年長 (3~6歳)						
メッセージ	粘土も自然の一部であることに気づこう						
ねらい 発見・体感 できること	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土と園庭の土との違い ・粘土の特性や感触(ねばり、しめり、重さ、色など) ・森に棲むいろいろな生き物 						
参加者のめやす	幼児 70人 / 支援者 6人						
実施時間	50分						
フィールド (実施場所)							
	森・社寺林・公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動			●配慮・アドバイス◎アレンジ			
10分	①粘土や信楽焼の話を聞く ・粘土について ・本物の粘土(原土)を見る 			●粘土はどこから生まれるのか。園で使っている粘土との違いに気づかせましょう。 ◎田んぼや森林の土で粘土状のものを使うことができます。 →田-2「[豆知識] 土のはたらき」参照			
5分	②「森の妖精」登場 →p13「キャラクター」参照 ・森の生き物や森の中でのマナーの話を聞く 			●妖精役の支援者が、森の生き物の話や森の中での注意点を説明します。 ●野菜や木の枝、葉っぱなど、生きているものはむやみに採らないように約束します。 ●危険な場所には支援者が立ち、安全面に注意します。			

時 間	活 動	●配慮・アドバイス◎アレンジ
10分	③粘土を探す (異年齢で2～3人組) 	<ul style="list-style-type: none"> ●粘土がとりにくい場所にあたり、硬くてとれなかったりした場合は、年齢に応じて援助します。 ●粘土の感触や特性(粘りなど)に気づくようにしましょう。 ●粘土以外にもいろいろな種類の土があるので、感触の違いを比較してみましょう。
10分	④森に棲む生きものを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ●木の実や葉っぱ、木の枝など落ちている自然物なども使います。 ●子どもたちの興味や関心が他にある時は、作りたいと思うものをまず作ってから、今の内容に注目できるようにしましょう。 
5分	⑤切り株にならべる	
5分	⑥友だちの作った物を見る	<ul style="list-style-type: none"> ●友だちの作った物を見ることで、山にはいろいろな生き物がいることに気づきます。
5分	⑦作った物が、生活している場所や好む場所を想像して、その場所に置く	<ul style="list-style-type: none"> ●山が子どもたちの作った物で楽しかったことをみんなで喜びあいましょう。 ◎その後の様子を見に行きましょう。置いた作品の変化を見るだけでなく、継続して同じ場所を訪れましょう。
【異年齢への対応】 <ul style="list-style-type: none"> ◆年少：土の感触を楽しみます。 ◆年中：生き物などイメージしたものを作ります。 ◆年長：作った物に、木の枝や実を足して模様をつけます。 		
【園や家庭に帰ってから】 <ul style="list-style-type: none"> ◆園や家の周辺などで原土を探しましょう。 ◆いろいろな粘土を比べてみましょう。(ねばり、しめり、重さ、色など) ◆作った生き物を図鑑で調べてみましょう。 ◆それぞれの家に焼き物(食器、置物)がいくつあるのか調べてみましょう。 ◆陶芸に挑戦してみましょう。 		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・長靴 ・バケツ ・スコップ ・焼き物の写真 ・穴窯で焼かれた作品 ・妖精衣装 ・タオル(手拭用) 	